

# バルト三国の児童書

## ～エストニア・ラトビア・リトアニア～

今年にはエストニア、ラトビア、リトアニアと日本との国交樹立 90 周年及び国交回復 20 周年の年です。バルト海のほとりに位置するこの三つの国は、多くの森と湖を持つ美しい国々です。それぞれ古い歴史がありますが、強大な国々の隣国であったため、外国による占領、独立という過程を経なければなりません。しかし、このことは各国の文学に強さと奥行きを与え、児童文学の世界でも、優れた作家、挿絵画家を輩出しました。また、文学者であるとともに政治にかかわった人々が多いのも特徴です(学者、芸術家なども同様です)。美しい国土と、穏やかさの中に強さを秘めた国々の児童書を手にとってご覧下さい。

本展示は各国の児童文学史を概観できるよう、配列は作家の生年順になっています。最後に挿絵画家を付しました。展示数に限りがあるため、取り上げることのできなかった作家・挿絵画家もあります。さらに知りたい方のために最後に参考図書、参考サイトを添えました。

## エストニア★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

EE-1) Eesti raamatu lugu (エストニアの本の歴史) / Uno Liivaku. [Estonia] Monokkel 1995  
当館請求記号 (YZ-020-B1)

16 世紀から現代までのエストニアの図書をめぐる歴史。各時期の出版、人と本との関わり、教育と図書、雑誌などを取りあげ、各テーマ毎に、統計を多く使って説明しています。エストニアの近・現代はスウェーデン、ロシア、ドイツによる占領の歴史でもありましたが、その中でエストニア語図書の存在の大きさを知ることができます。図書・雑誌の表紙の図版が多数収録されています。

**Friedrich Reinhold Kreutzwald(1803～1882)** エストニア民族文学の父と呼ばれます。ロマン主義の影響を受け、エストニア民話、伝説を採話し、作品化しました。

EE-2) Kalevipoeg (カレヴィポエク) / Friedrich Reinfeld Kreutzwaldi jargi ; lastele jutustanud Eno Raud ; illustreerinud Jaan Tammsaar. Tallinn Tiritamm 1998.

当館請求記号 (Y8-A1968)

英雄カレヴィポエクが黄泉の国や外国の敵と戦う叙事詩です。エストニアの巨人伝説をもとにして作られました。原著は 1857～1861 年出版。本書は子ども向けに書き直されています。原文のままみたい場合は、”Kalevipoeg : uks ennemuistne jutt kahekumnes laulus” 当館請求記号 (Y8-B4954) をご覧ください。

**Juhan Kunder(1852～1888)** 「よい児童書は子どもを教育し、人生に役立つ教えを提供するとともに、楽しめて、かつ語り聞かせることができるものでなくてはならない」という考えのもとにエストニアの民話から題材をとった作品を書きました。1884 年に”Laste raamat(子どもの本)”を書き、これがエストニア児童書の先駆的な作品とされています。

EE-3) Imelik peegel (不思議な鏡) / Juhan Kunder. Tallinn Steamark c2002.

当館請求記号 (Y8-B7191)

同じくエストニア民話に題材をとった作品です。ある豊かな国の年をとった王さまは、その鏡に自分を映すと若返るといふ鏡があると聞き、息子の三人の王子にそれを探してくるように命じます。

**Oskar Luts(1887-1953)** 大学で薬学を学んだあと、作家活動に入りました。自らの学校時代を描いた作品“Kevade (春)”は、世代を超えて読まれ、以後、長く読み継がれる作品となっています。いきいきとした人間描写が作風の特徴です。

EE-4) Malchik s rozhkami (角のような瘤のある少年) / Oskar Luts ; perevod s estonskogo Svetlana Semenenko Tallin Izd-vo "KPD"2006

当館請求記号 (Y8-B8884)

森にイチゴを摘みに言ったクスティとイッティは森で迷ってしまい、森に住む老婆に捕まり、無理やり働かされます。老婆のもとには頭に瘤のある少年がいました。二人は隙を見てこの少年も一緒に連れて逃げ出します。この頭に瘤のある少年が外界の生活に馴染んでいくお話です。1920年に書かれたこの話は、映画や舞台化され、今でも上演されています。本書はエストニア語、ロシア語併記です。

**August Jakobson (1904-1963)** 作家でエストニア作家同盟の会長などを務めました。社会主義リアリズムの代表的作家といわれ社会評論、劇でも知られていますが、児童書も多く書いています

EE-5) Eesti muinasjutud (エストニアのおとぎ話) / August Jakobson. [Tallinn] Tanapaev c2007.

当館請求記号 (Y8-B9786)

子ども向けにやさしく書かれたエストニアの民話集です。エストニアの民間伝承、神話などに登場する妖精、幽霊、それらと人間とのかかわりが描かれています。

**Eno Raud(1928~1996)** エストニアの児童文学作家。国立図書館、出版協会、出版社などに勤めたあと、著作に専念し、多くの児童向けの作品を書きました。

EE-6) Anu ja Sipsik (アヌとシプシック) / Eno Raud ; joonistanud Edgar Valter. Tallinn "Eesti Raamat" 1970.

当館請求記号 (Y17-B1717)

マルトとアヌは兄妹です。マルトは妹のアヌの誕生日のプレゼントにおばあさんに教わりながら布や毛糸を使って人形を作ります。やっと完成した人形は「僕の名前はシプシック」としゃべりだします。

EE-7) Naksitrallid (ナクシトラリッド) / Eno Raud ; illustreerinud Edgar Valter. [Tallinn] Tiritamm 1998

当館請求記号 (Y8-A5125)

ナクシトラリッドは小さな小人のような人々です。エストニアの民話の中に登場する人々に似ていますが、都市に暮らし、自然の中に出かけて行きます。人間と自然、また文明のあり方を考えさせられる作品です。

**Ellen Niit (1928~ )** 詩人、作家、翻訳家。タルトゥ大卒業後、児童文学研究に携わったあと、作家同盟、テレビ局の仕事を経て作家活動に入りました。

EE-8) Onu Ööbiku ööpäev (鶯おじさんの一日) / Ellen Niit ; pildid joonistanud Maarja Undusk. [Tallinn] Tiritamm c1998.

当館請求記号 (Y8-A5079)

長く読み継がれている Ellen Niit のお話と劇集です。

**Aino Pervik (1932~ )** タルトゥ大卒業後、出版社・TV局などで児童向けの図書の編集、児童向け番組制作などに携わったあと、作家活動に入ります。児童書作家として知られていますが、詩作や翻訳なども行っています。おとぎ話風の体裁を取りながら、さまざまな社会問題、人間のあり方といった題材を取り上げた児童書を書いています。

EE-9) Kunksmoor; Kunksmoor ja Kaptan Trumm (クンクスおばさん：クンクスおばさんとトゥルム船長) / Aino Pervik ; Edgar Valteri illustratsioonid. Tallinn Tiritamm 2001.  
当館請求記号 (Y8-B6307)

クンクスおばさんは自然の中で暮らし、人々の病気を呪文や薬草で癒すいい魔女です。そんなクンクスおばさんに、人々の怠慢によって、油で汚れてしまった海を直してくれという要望が寄せられます。クンクスおばさんの力は海を救うほど強くはありません。でもクンクスおばさんはなんとか海を救おうとします。1973年に出版され、何回か版を重ねているロングセラーの児童書です。英語、ドイツ語、ロシア語などにも翻訳されています。

EE-10) Draakonid voorsil (龍はよそへ) / Aino Pervik ; illustreerinud Piret Raud. Tallinn Tiritamm c2002.  
当館請求記号 (Y17-B7738)

龍たちが住んでいた山の麓で、つまらない理由から戦争が始まり、龍たちはよその国に行って暮らさざるを得なくなります。戦争による難民の運命を子どもたちがわかるように、龍を使って描いた作品です。

**Henno Kao (1942~2004)** 作家、挿絵画家。美術大学で学んだあと、人形劇映画の製作に携わり、のちに児童文学作家としての活動に入りました。サイエンス・フィクション・ファンタジーに民話的要素も入れた作風で知られています。

EE-11) Olematu saar? : peaaegu uskumatud seiklused uhel uskumatult ilusal suvel(実在しない島? : 信じられないほど美しい夏の信じられない冒険) / aurori pildid, Henno Kao. Tallinn AS "Uhiselu" 1997.  
当館請求記号 (Y8-A5077)

作者自身とおぼしき作家が、ある島にでかけて行き、幽霊、魔女、超能力をもつ存在などに出会う話です。

**Leelo Tungal (1947~ )** 詩人、作家、翻訳家。大学卒業後、教師、編集者を経て創作活動に入ります。児童向けの雑誌「Hea Laps (よいこ)」の編集もしていました。

EE-12) Anna ja Aadama lood : lugusid ja luuletusi Paka kooli lastest (アンナとアダムの話 : 子ども向けのお話と詩) / Leelo Tungal. Tallinn Avita c2003. 当館請求記号 (Y17-B7744)  
アダムとアンナ、そして二人の学校友達のパカが活躍する話です。

**Helvi Jurisson (1962~ )** 作家・医師。一般書の他に多くの児童書を書いています。

EE-13) Magra maja (穴熊の家) / Helvi Jurisson ; pildid joonistanud Piret Mildeberg. Tallinn TEA Kirjastus 2007.  
当館請求記号 (Y17-B8761)

動物たちを扱った詩集です。書名になった「Magra maja (穴熊の家)」は、穴熊の家に引っ越してきた狸たちが、最後に穴熊を押し出してしまう話です。児童雑誌に最初発表されたこの詩は当時かなり問題になりました。エストニアに来て、エストニアを占領した国に対する反感と、それに対する取締りがこの詩を問題の書にしたのです。本書の表紙となった穴熊は水色、黒、白を巧みに組み合わせた姿で描かれています。「水色、黒、白」はエストニアの国旗の色、添えられている数字の1991はエストニアが独立した年を表していると思われます。

**Andrus Kivirahk (1970~ )** 作家。エストニア作家同盟会員。21世紀の最も人気のある作家と言われています。著作と劇「シュールリアリスト」等により2006年にエストニア国民賞を受賞しました。

EE-14) Leiutajatekula Lotte (発明村のロッテ) / Andrus Kivirahk ; kunstnik Heiki Ernits, kunstnikud Laima Puntule ... [et al.]. [Tallinn] Eesti Joonisfilm c2006.  
当館請求記号 (Y17-B11532)

エストニアで大人気のアニメです。ロッテは犬の女の子で、友達には豚や兎がいます。ロッテに柔道を教えてくれるのは日本ミツバチの「ススム」で、同じく柔道を習っている仲間には「コージ」や「ノリコ」がいます。

## 合集(作家)

EE-15) Eesti lasteluule kuldraamat(エストニア児童詩の金の本)/ koostanud, Reet Krusten ; pildid joonistanud, Piret Mildeberg. Tallinn TEA Kirjastus 2008.

当館請求記号 (Y8-B10579)

19世紀から現代に至るまでのエストニアの児童向けの有名な詩を集めてあります。同じように伝説を集めた Eesti muistendite kuldraamat (エストニアの伝説の金の本) (当館請求記号 Y8-B10580) もあります。

EE-16) Ruttu tuttu! : Eesti isade unejutte (ねんねんころーりよ) Tallinn Ajakirjade Kirjastus 2005

当館請求記号 (Y17-B11533)

1960年代以降に生まれた11人の作家が書いたおとぎ話集です。

## 挿絵画家たち

**Edgar Valter (1929~2006)** 挿絵画家として250冊以上の本の挿絵を書きました。その大半は児童書です。のちに作家として作品を書くようにもなりました。もともとは民話にあったポックを子どもに親しまれるキャラクターにした「ポックの話」などで親しまれています。

EE-17) Ikka veel kummitab! (まだ幽霊が!) / Edgar Valter. Tartu Elmatar 2005.

当館請求記号 (Y17-B7739)

画家が古い城壁のある町に住み始めます。すると奇妙なことが起こり始めます。まだ幽霊がそこにはいたのです。画家は幽霊たちとの暮らしに折り合っていきますが次々に事件が起こります。

**Piret Raud (1971~ )** タリン芸術大卒業後、挿絵画家、作家として活躍。エストニア文化賞(児童文学賞)などを受賞しています。

EE-18) Onu Volgi värsiaabit (ボルギおじさんの詩) / varsid, Peeter Volkonski ; pildid, Piret Raud. [Tallinn] Eesti Entsüklopeediakirjastus c2004. 当館請求記号 (Y17-B8812)

言葉あそびの詩のABCの本です。作者の Peeter Volkonski (1954~ ) は、音楽家、俳優、監督です。

EE-19) Kala kannib jala / Eno Raud = Ryba khodit, kolobrodit -- : smeshnye stikhi dlia veselykh detei (魚はぶらぶら歩きます: 子どものためのおもしろい詩) / Eno Raud ; perevod s estonskogo Liudmily Simaginoi. Tallinn KPD kirjastus 2003.

当館請求記号 (Y17-B10891)

動物や魚についての子どもの向けの詩集です。韻を踏み、言葉遊びの要素もあります。ロシア語・エストニア語併記。

## 合集(挿絵画家)

EE-20) Suur valmiraamat (大きな本) / Aisopos ... [et al.]. [Tallin] Avita c2006.

当館請求記号 (Y8-B9473)

イソップ、ラ・フォンテーヌ、クルイロフ、トルストイ、フェリックス・コッタなどの動物説話に、現在活躍中の挿絵画家が絵を付けています。エストニアの挿絵画家の作風を概観できます。

# ラトビア★★

**Anna Brigadere (1861~1933)** 作家、劇作家。民話に題材をとった作品の他、自伝を書いています。

LV-1) Spriditis(おやゆびくん) / Anna Brigadere. Riga Zvaigzne ABC [1998]  
当館請求記号 (Y8-B7376)  
小さな少年が、肩にスコップを担いで世の中に出て自らの幸せをさがしに行くという話です。ラトビアの民話にある小人に題材をとっています。初版は 1903 年です。この話は作者の Anna Brigadere が、クリスマスに外国の劇ではなく、自分で劇の台本を書こうと決めて生まれました。ラトビア児童文学の最初の作品といわれています。

**Aspazija (1865~1943)** \*本名 **Elza Pliekšāne** 詩人、劇作家、政治家。作風としてはロマン派と言われる。ラトビアの独立運動、女性解放運動にもかかわりました。

LV-2) Sed uz sliksna pasacina (お話の敷居にお座りなさい) / Aspazija ; [sastadijusi Saulcerite Viese ; maksliniece Ilona Ceipel]. Riga "Liesma" 1977.  
当館請求記号 (Y17-B1491)  
子ども向けの詩集です。それぞれの詩のなかにあたらしい世界が広がっています。近年、この詩集を基にして、アニメーションが作られ大きな反響をよびました。

**Janis Rainis (1865~1929)** 詩人、劇作家、翻訳家(ゲーテなどの翻訳を行う)、政治家。作品はラトビア語に大きな影響を与えています。政治家としてラトビアの独立のためにも尽くしました。

LV-3) Prieki visas gadskartas: Jana Raina mazpazistama bernu dzeja. (すべての楽しい記念日に: ヤン・ライナの知られざる子ども向けの詩) Riga Zinatne c2005  
当館請求記号 (Y17LV-B8892)  
19 世紀に出版された子どもの本の合集・復刻版です。同時代のドイツの影響が強くうかがえます。

**Vilis Pludonis (1874~1940)** 詩人。詩の形式で多くのおとぎ話を書きました。

LV-4) Zakisu pirtina (うさぎのお風呂の日) / [Vilis Pludonis ; makslinieks Didzis Purins]. Riga Zvaigzne ABC [1988?]  
当館請求記号 (Y17-B10107)  
うさぎの一家が楽しくお風呂に入っていると、そこに狼がやって来るとい子ども向けの詩です。

**Janis Jaunsudrabins (1877~1862)** 主に田園生活を描いた作家として知られています。平易な文体でユーモアを交えた作品を書きました。作品数は多くロシア語、ドイツ語などにも訳されています。

LV-5) Balta gramata (白い本) / Janis Jaunsudrabins. [Riga] Valters un Rapa c2005.  
当館請求記号 (Y8-B8361)  
19 世紀末から 20 世紀の初めにかけて自分の少年・少女時代の思い出を書いた自伝風の散文が書かれました。これはそのひとつです。1914 年に出版されたこの作品は自分の子ども時代を描いて、非常に評判になり、いまでも読まれています。

**Karlis Skalbe (1897~1945)** 多くのおとぎ話を書いて、ラトヴィアのアンデルセン、「おとぎ話王」と呼ばれています。民話に題材をとったおとぎ話の体裁をとっていますが、その内容は大人向けの話といわれています。

LV-6) Kakisa dzirnavas (猫の水車小屋) / Karlis Skalbe. Riga Zvaigzne ABC c1996.

当館請求記号 (Y17-A54)

猫は水車小屋で働き、幸せに暮らしていました。しかし娘の結婚のために水車小屋を抵当に入れ、別の猫に水車小屋を乗っ取られてしまいます。無一文になった猫は娘のところに行きますが、助けてもらえずあちこちを放浪します。猫は、妻を失って悲しみにくれている王様のところにたどり着き、さまざまな話をします。猫は誰も恨むことはしない、恨みは恨みを生み、悲しみは悲しみを生むという話をします。そして王様と猫はそれぞれの悲しみから立ち直ります。やがて、猫はもとの水車小屋に戻り、努力してもとの生活を取り戻します。アニメや演劇にもなっている人気のお話です。挿絵の違う版もあります。(英訳 “Kitty's water mill”当館請求記号 Y17-A55)

**Margarita Staraste (1914～)** 作家、挿絵画家。美術学校で学んだ後、多くの児童書を書きました。

LV-7) Ziluks : pasaka (どんぐりぼうや:おはなし) / Margarita Staraste ; ilustrejusi autore.

Riga Zvaigzne ABC [2000]

当館請求記号 (Y17LV-S795-B8904)

どんぐりくんは旅にでます。そしていろいろな動物や、昆虫などと知り合います。ラトビアで非常に人気がある話で何回も版を重ねています。またアニメにもなっています。(日本語訳『わんぱくどんぐりぼうず』当館請求記号 Y7-3632)

**Zentas Ergles (1920～1998)** ラトビア大卒業で建築を勉強し建築の仕事をしていましたが、1950年代から児童文学作家として活躍。1950年代から1980年代にかけて最も人気のある作家と言われています。

LV-8) Musu setas berni (裏庭の子どもたち) / Z. Ergle. Riga Apgads Zelta grauds 2006.

当館請求記号 (Y8-B7381)

初版は1956年に出版されました。同時代の十代の少年少女の日常を描いています。

**Juris Zvirgzdins (1941～)** 作家、劇作家。ラトビア大卒業後、編集者を経て作家活動に入ります。1980年以降、児童文学作品を書いています。

LV-9) Tobiass dodas pasaule(トビアス、世界を旅する) / Juris Zvirgzdins ; maksliniece Signe Ermane-Litvina. [Riga] Gara pupa c2005. 当館請求記号 (Y17LV-E71-B10108)

ぬいぐるみの熊のトビアスが旅をしてさまざまなものと知りあう話です。トビアスのシリーズは子どもたちに大人気です。

**Imants Ziedonis (1933～)** 詩人、出版者、作家、翻訳家、劇作家、政治家。ラトビア大卒業後、図書館員から鉄道労働者にいたるまでさまざまな職業を体験し、その体験が作品にいかされています。ラトビアで最も人気のある作家のひとりです。

LV-10) Krasainas pasakas (いろとりどりの話) / Imants Ziedonis. Riga Zvaigzne ABC [1997]

当館請求記号 (Y8-B7371)

白、黄色、茶色、青など12の色をテーマにしたお話集です。本書はラトビア文化省が2006年に作成した「黄金のラトビア文学百選」に選ばれました。挿絵の違う版もあります。

**Janis Baltvilks (1944～2003)** 詩人、作家。生物学者、鳥類学者として働き、科学関係の著書もあります。

LV-11) Gludekla klejojumi (放浪するアイロン) / Janis Baltvilks ; ilustrejis Viesturs Stanislavskis. [Riga] [Aka Print Poligrafija] c2000. 当館請求記号 (Y17-B10087)

アイロンはアイロン台の上を行ったり来たりするのにあきてしまい、外に出かけて行きます。

**Maris Rungulis (1950～)** ラトビア大卒業後、雑誌の編集者などをしたあと作家活動に入ります。子どもたちが選ぶ賞に最も多く選ばれています。

LV-12) Sirsninsalas (心からの島々) / Maris Rungulis. Riga Zvaigzne ABC [2004]  
当館請求記号 (Y8-B10643)

主人公のリーヴァは 15 歳。母親はリーヴァを愛し、いろんなことから守ってくれ、リーヴァは満ち足りた平穏な生活を送っていました。しかし、リーヴァは大人への入口にさしかかり、親とは違う世界を持つようになっていきます。揺れ動く十代の少女を描いた作品です。書名の「スルスニンサラス (心からの島々)」はリーヴァの友達が持っているという船の名前です。

**Māra Cielēna (1954～)** 詩人、作家、翻訳家。ラトビア大言語学部卒業後、民話言語文学研究所、出版社勤めを経て、作家活動に入りました。

LV-13) Dazadas tumsas (暗闇ものがたり) / Mara Cielena ; maksliniece Ilze Ramane. [Riga] Rasa c2005. 当館請求記号 (Y17-B10090)

暗闇についてのさまざまな物語を集めた本です。暗闇にもいろいろな暗闇があり、その暗闇を集めている男の人の話、大きな暗闇と小さな暗闇の話、暗闇と星たちの話などが収められています。挿絵は Ilze Ramane です。

**Inese Zandere (1958～)** 詩人。ラトビア大卒業後、編集者として働くかわら創作を続けます。2002年に発表された“*Iekšņa un ārīņa* (内と外)”は21世紀の児童文学としては唯一「黄金のラトビア文学百選」に選ばれました。

LV-14) Pingus Posta piedzīvojumi (ピングス・ポストの冒険) / Inese Zandere, Kristians Sics. [Riga] Liels un mazs 2006 当館請求記号 (Y16-B237)

マンガで書かれたおとぎ話です。野菜の漬物から生まれた少年ピングス・ポストは、人生において永遠の敗者であると運命付けられています。しかし、この物静かで親切な少年は明るい心を失うことなく、その悲惨な運命に立ち向かっていきます。

**Maira Dobele (1976～)** 十代の若者の生活と気持ちを描いて、若者に圧倒的な支持を受けています。本書は最初の作品。ヘルシンキ芸術・デザイン大学で映画製作を学んだ後、雑誌編集、介護施設などで働き、現在は映画関係仕事に携わりながら小説を書いています。

LV-15) Nepareizas dzīves skola (不適切人生学校) / Maira Dobele ; ilustrējusi Anete Melece. [Riga] Liels un mazs c2008. 当館請求記号 (Y8-B10644)

主人公のメトラスはラトビアの田舎で、母親と暮らす十代の少女です。父親はもう亡くなっています。母親との関係、友達との関係、自分を認めて欲しいという願い、自分のうちに持っているエゴ、恐れ、偏見・・・十代のさまざまな悩みと微妙な感情が描かれています。

## 挿絵画家たち

**Anita Paegle (1956～)** ヤニス・ローゼンタール美術学校、ラトビア美術大学で学びます。2012年国際アンデルセン賞(挿絵)にノミネートされています。

LV-16) Night adventures of the clocks : fairy tales (時計たちの夜の冒険 : おとぎ話) / [text by] Mara Cielena ; [illustration by] Anita Paegle ; [translation from Latvian by] Igor Samovskis Riga Jana seta 1997 当館請求記号 (Y17-A1841)

時計たちは黙って時を刻んでいるだけではありません。時計たちは人々が寝静まった深夜、こっそり家を抜け出して公園に集まりさまざまな話をしているのです。標題の話の他に、チェスの駒が、案山子、人形などが生き生きと動くお話など全部で7編の話が収録されています。

## Ilona Ceipe

LV-17) Dizi putni, mazi putni : latviesu tautas dziesmas (大きな鳥たち、小さな鳥たち : ラトヴィアの民謡) / sastadījusi Anna Graubina ; ilustrējusi Ilona Ceipe. Rīga "Liesma" 1976  
当館請求記号 (Y17-B1533)

## Ilze Ramane

LV-18) Tuk, tuk, mizgrauzi! : lasami un skatami panti (コツ、コツ、木の皮をかじる者よ! : 読んで、絵で見る詩) / Maris Rungulis ; maksliniece, Ilze Ramane. [Rīga] Valters un Rapa c2008.  
当館請求記号 (Y17LV-R165-B12804)  
子ども向けの詩です。コツ、コツはきつつきが木をつつく音です。森、池、空、そしてそこにいる動物たちについて歌っています。

## Gundega Muzikante

LV-19) Ka Ruksitis ciemos gaja (子豚ちゃんがお客に招かれたお話) / Dzidra Rinkule-Zemzare ; Maksliniece Gundega Muzikante. Rīga Zvaigzne ABCc1995.  
当館請求記号 (Y17-IV-M994-A57)  
子どもむけの詩

## Ilze Dambe

LV-20) Pucumuiza mums japietur : dzejoli (プツ荘園をとっておきましょう : 詩) / Mara Cielena ; maksliniece Ilze Dambe. [Rīga] Lietusdarzs c2007.  
当館請求記号 (Y17LV-D156-B10084)  
子どもむけの詩

## リトアニア★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

LT-1) Lietuviski elementoriai (リトアニアの初級読本) / sudare Aurelija Rabaciauskaite, Ingrida Korsakaite. Kaunas "Sviesa" 2000  
当館請求記号 (YZ-989-B4)  
リトアニアのABCブックについて、その歴史、特徴を述べ、代表的なABCブック123点をカラー図版で収録し、さらに447点の書誌事項を収録しています。巻末に出版地別ABCブック一覧、人名索引、英・独・露語の内容要約がついています。リトアニアでは1864年～1908年までの間、ラテン文字によるリトアニア語の出版が禁止されていたという事情があります。

**Jonas Basanavicius (1851～1927)** リトアニアの独立を守るためにさまざまな活動を行い、1918年のリトアニア独立運動に大きな役割を果たしました。リトアニアの歴史、文化、民話、言語についても大きな関心を寄せ多くの著作を残しました。

LT-2) Gražiausios lietuviu pasakos (リトアニアのもっとも美しい話) / [dailininke Edita Zumbakyte ; is Jono Basanaviciaus ... et al. rinkiniu].  
当館請求記号 (Y8-A5179)  
リトアニアの民話集。

**Vincas Pietaris (1850～1902)** 外科医、作家。13世紀のリトアニアを舞台にした小説「アルギマンタス公爵」で知られています。

LT-3) Lapes gyvenimas ir mirtis : pagal senu zumonių pasakas (狐の生と死 : 民話から) / Vincas Pietaris ; [dailininkas Juozas Kvietinskis]. Kaunas Sakalas 1996.  
当館請求記号 (Y17-A157)



**Pranas Mašiotas (1863~1940)** 作家、教育者。教育省副大臣、学校長なども務めました。外国の児童文学をリトアニア語に訳し、また自らも子ども向けの物語を多く書き、児童文学に対する貢献から「リトアニア児童文学の父」と呼ばれています。自伝三部作に『Ir aš mažas buvau (私も小さな子どもだった)』(1919)、『Gimnazija atsiminus (ギムナジウムの思い出)』(1922)、『Kai knygas draudė (本が禁止されたとき)』(1924)があります。少年時代はリトアニア語の出版が禁止された時期と重なります。

LT-4) Kad greičiau augčiau / Pranas Masiotas ; sudare Vincas Auryla ; [dailininke Sandra Urbonaitė]. Kaunas 1998. "Sviesa" 当館請求記号 (Y8-A5176)

**Petras Cvirka (1909~1947)** 美術関係の学校で学んだあと、フランスで文学を学び、フランス語からリトアニア語への翻訳を行ったあと、創作活動に入りました。ソビエト期にリトアニア作家同盟の会長をしていたことで現在では評価が分かれています。典型的な社会主義リアリズムの作品も書いていますが、リトアニアの民話を題材にした作品もあります。

LT-5) Zverys muzikantai (動物の音楽家たち) / Petras Cvirka. Vilnius Gimtasis, zodis c2006."Vaga" 当館請求記号 (Y17-B8749)  
狼が歩いていると猫が通りかかります。猫はモグラの結婚式にいくというので、ほかの動物たちも一緒にいくことにしますが、さまざまなことが起きてしまいます。

**Vytautas Tamulaitis (1913~1993)** 1940年代に登場したリトアニア児童文学の初期作家の一人。カウナス大で自然科学を学びました。最初の作品「蟻の冒険」など六篇の児童向けの物語を書きました。

LT-6) Vasaros pasaka (夏の話) / Vytautas Tamulaitis ; Arvydo Kazdailio iliustracijos. Vilnius Lietuvos rasytoju sąjungos leidykla c2004. 当館請求記号 (Y17-B8803)  
ミツバチの話です。ミツバチは蜜を集めるだけではありません。幼虫の面倒をみたり、外部からの敵の侵入も防がねばなりません。そうしたミツバチの夏の日々がユーモラスな挿絵とともに描かれています。

**Jonas Avyžius (1922~1999)** 編集者などを経て作家となります。国会議員もつとめました。作品はアニメ化されて人気をよび、ロシア語、カザフ語、エストニア語、ドイツ語などに訳されました。

LT-7) Stebuklingas miestas (魔法の町) / Jonas Avyžius ; iliustravo Irena Zviliuviene. Vilnius Lietuvos Rasytoju sąjungos leidykla 1997. 当館請求記号 (Y8-A5165)  
おとぎ話のような7つの話からできていますが、なかに鋭い諷刺が隠されています。

**Mykolas Sluckis (1928~ )** 第二次世界大戦中、ロシアに送られ孤児院で育ちました。ヴィリニウス大卒業後、編集者を経て作家活動に入りました。

LT-8) Milzinai nenorejo karaliais buti (王様になりたくなかった巨人たち) / Mykolas Sluckis ; dailininke Edita Namajuniene. Vilnius Gimtasis zodis 2004. 当館請求記号 (Y8-B7179)  
リトアニアに伝わる伝説を下敷きにして、子どもたちにリトアニアについて、また労働と勤勉の意味を語っています。

**Ramutė Skučaitė (1931~ )** 詩人。シベリアで育ちました。リトアニアに戻って大学を卒業し、児童雑誌の編集などを経て作家活動に入りました。IBBY リトアニア支部の賞を受賞。

LT-9) As esu -- kas? (私は・・・なあに?) / Ramutė Skučaitė ; dailininke Juratė Racinskaitė. Vilnius Kronta 2006 当館請求記号 (Y17LT-R121-B10530)  
古典的な形式で書かれた新しい子ども向けの詩集。

**Kazys Saja (1932～)** 作家、劇作家、政治家。教育大で学んだあと創作を行うようになりました。1990年の独立宣言の起草者の一人です。

LT-10) Kurio nieks nemylejo : romanas jaunam skaitytojui (誰にも愛されない : 若者向け小説) / Kazys Saja. Vilnius Alma littera 2008. 当館請求記号 (Y8-B10558)  
十代の若者を描いたヤング・アダルト向け小説。

**Martynas Vainilaitis (1933～2006)** 詩人、散文作家、翻訳家。自然を詩的に描くとともに、民話から題材をとった作品を描いています。1999年、2002年に作品が最優秀児童書になっています。

LT-11) Vario varteliai / Martynas Vainilaitis ; [ilustravo Edita Suchockyte-Abumuheisen]. Vilnius Kronta c2006. 当館請求記号 (Y17-B8757)  
子ども向け詩集。

**Bite Vilimaite (1943～)**

ヴィリニウス大卒業後、雑誌の編集者として働きます。女性の運命などをテーマにした小説を多く書いています。2003年に文化芸術賞を受けました。

LT-12) Mergaites romanas (女の子の物語) / Bite Vilimaite. Vilnius Gimtasis zodis 2004. 当館請求記号 (Y8-B8595)  
孤児のエルザは異なった養父母の間を転々とし、さまざまな現実を知るなかで、なんとか自分であろうとし、自分の居場所をさがそうとします。

**Vytautas Račickas (1952～)** ヴィリニウス大卒業後、新聞社で働きます。離婚、いじめといった深刻な問題を扱った作品を書いています。青少年に最も人気のある作家の一人です。

LT-13) šlepetę (スリッパ) / Vytautas Racickas. Vilnius Vytautas Racickas 2008. 当館請求記号 (Y8-B8865)  
家を出るときに、お父さんは片方のスリッパをなくしてしまいます。そこから、いろいろな人を巻き込んださまざまな事件が起こります。1996年 I B B Y リトアニア支部の最優秀図書賞受賞作

**Vytautas V. Landsbergis (1962～)** ヴィリニウス大卒業後、俳優、監督、作家として活躍しています。同名の政治家は彼の父親です。

LT-14) Arklio Dominyko meile (恋に落ちた馬のドミニク) / Vytautas V. Landsbergis, Sigute Ach. Vilnius Nieko rimto 2004. 当館請求記号 (Y17-B8735)  
馬のドミニクは矢車草に恋をしました。冬が近づきドミニクは矢車草が凍らないように石の下に隠します。それからドミニクはアフリカに旅して、さまざまな動物たちに会います。再びリトアニアに戻ったドミニクは石の下から矢車草の芽が出ているのを見つけ、ドミニクは矢車草に「希望」という名前を付けます。

LT-15) Obuoliu pasakos (リンゴの話) / Vytautas V. Landsbergis, M. Jonutis. Vilnius Nieko rimto 2006. 当館請求記号 (Y8-B7853)  
リンゴは霜に恋します、カラスはリトアニアの侯爵と結婚したいと思いますが、最後は雀と結婚します。童話、伝説から多くのキャラクターが登場し、全体が比喩、アイロニー、ほのめかしなどで作られたおとぎ話ふうのナンセンス物語です。

## 挿絵画家たち

**Kęstutis Kasparavičius (1954～)** チュルリョーニス芸術大学で音楽を専攻したあと、ヴィリニウス芸術大でグラフィック・デザインを学び、出版社で働き挿絵画家として本を出版するようになります。2010年国際アンデルセン賞(挿絵)にノミネートされています。

LT-16) Braskiu diena : paslaptingos istorijos (いちごの日 : 秘密のお話) / Kęstutis Kasparavicius. Vilnius Nieko rimto 2006. 当館請求記号 (Y17 LT-K19-B8744)  
23の話が収められています。日常見慣れたものが違う姿で登場します。表題の「いちごの日」はあらゆるものがイチゴ・モードになります。「髪」は髪の毛がきのこになったり、花になったりします。

LT-17) Dingės paveikslas (消えた肖像) / Kęstutis Kasparavicius. Vilnius Nieko rimto 2007 当館請求記号 (Y17LT-K19-B8743)  
犬のアルベルト教授の家でパーティです。いろんな動物が正装して集まりました。教授は、絵を買いましたが、皆に披露したその絵が、突然、どこかに消えてしまいました。そこから捜索が始まります。

**Irena Žviliuvienė (1944～)** ヴィリニウス芸術大で美術を学び、挿絵画家となりました。内外の多くの賞を受けています。“Sidabrine kultuvele”は2004 I B B Yのオナーブックです。

LT-18) Sidabrine kultuvele (銀の櫛) / Martynas Vainilaitis ; iliustravo Irena Žviliuviene ir Zivile Žviliute. Vilnius Leidykla Zara c2002 当館請求記号 (Y17LT-Z96-B8748)

LT-19) Karaliaus zentas (王の婿) / Martynas Vainilaitis ; iliustravo Irena Žviliuviene ir Zivile Žviliute. Vilnius Leidykla Zara c2003 当館請求記号 (Y17 LT-Z96-B8752)

## Giedrius Jonaitis (1963～)

LT-20) Nebijoke (怖がらなかった女の子) / Vytaute Zilinskaite ; [dailininkas Giedrius Jonaitis]. Vilnius Vaga c2000. 当館請求記号 (Y8-A5180)

★★★★本展示については下記の資料、サイトを参照しました。★★★★★★★★★★

- 1) Kęstutis Urba “Part V. National International – Baltic countries” (International companion encyclopedia of children's literature / edited by Peter Hunt. London Routledge 2004. pp.990-997) 当館請求記号 (YZ-909-B147)
- 2) Almanach zur baltischen Kinderkultur : Estland, Lettland, Litauen / [Herausgeber, Institut für Interdisziplinäre Kultur- und Medienforschung (IKM), Katholische Akademie Hamburg, in Kooperation mit Kulturbehörde der Freien und Hansestadt Hamburg ; Redaktion, Gunter Gorschenek, Margarete Gorschenek, Hannelore Hilzheimer ; Beiträge von Horst Kunnemann ... et al.]. Hamburg Katholische Akademie 1994. 当館請求記号 (YZ-989-B14)
- 3) A horse that sings at night : children's literature in Latvia / Silvija Tretjakova, Ilze Stikane, Inese Zandere ; translated by Sabine Ozola ; editors, Banuta Rubess, Mark Case. Liga Latvian Literature Centre c2006. 当館請求記号 (YZ-993-B3) \*ラトビア児童文学史

4) Eesti Lastekirjanduse Keskus (エストニア児童文学センター)  
<http://www.eltk.ee/the-estonian-childrens-literature-centre/the-estonian-childrens-literature-centre>

5) Latvijas Literatūras centrs (ラトビア文学センター)  
<http://www.literature.lv/lv/index.html>

6) Lithuanian Literature Information Centre (リトアニア文学情報センター)  
<http://www.booksfromlithuania.lt/>

Vaiķu literatūros informācijas svētainēje (児童文学情報センター)  
<http://rubinaitis.lnb.lt/>

The Website of Lithuanian Professional Writers (リトアニアの作家のサイト)  
<http://www.rasytojai.lt/>

★インターネット書店 (これ以外にもいろいろありますが)  
(エストニア)  
<http://www.apollo.ee/>  
<http://www.raamatukoi.ee/>

(ラトビア)  
<http://www.jr.lv/en/>  
<http://www.amizante.lv/>

(リトアニア)  
<http://www.patogupirkti.lt/>

★バルト三国の文化関連事項についてもっと知りたい場合は下記のサイトが便利です。

ARS BALTICA

<http://www.ars-baltica.net/cultural-map.html>

(バルト海周辺の国々が文化振興のため協力して作成しているサイトで、文化関連の機関などが調べられます)